


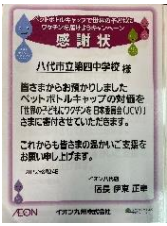



令和4年度（2022年度）学校版環境ISOへの取組

＜ 学校名：八代市立第四中学校 ＞

1 取組の概要報告

（1）取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>○専門委員会の時間に環境ISO宣言の努力目標の確認を行い、各学級に伝えた。</p> <p>・緑のカーテンの作成 ・残食ゼロ ・古紙回収</p> <p>・ペットボトルキャップ集め ・整理整頓コンクール など</p>
行動	  	<p>① 緑のカーテン 予算の関係で実施できなかった。</p> <p>② 残食ゼロ 給食の残食チェックを毎日行い、食への関心を高めた。また、残さず食べることで食への感謝の気持ちを高めた。</p> <p>③ 古紙回収 環境美化委員が、各学級に古紙回収ボックスを設置し、毎月の専門委員会時にひとまとめにした。集めた紙は資源庫に貯め、紙のリサイクルに努めた。</p> <p>④ ペットボトルキャップ集め イオン九州（株）の活動に賛同し、家庭でゴミとして処分されるペットボトルキャップを回収した。回収する意義や方法を専門委員会の報道で各学級に周知した。集まったペットボトルキャップを店舗に持参した。</p> <p>⑤ 整理整頓コンクール 校内の環境美化を目指し、整理整頓に取り組んだ。どの学級も競って教室内の美化作業に取り組み、整頓された環境で学習を行うことができた。</p>
記録		<p>○ ペットボトルキャップ集め 学校の活動に賛同してくださる家庭も多数あり、『50kg』の目標を上回る『168.3kg』のペットボトルキャップを回収することができた。（年間2回収）後日、イオン九州（株）より感謝状をいただいた。</p>
見直し		<p>○ 残食ゼロ 給食委員を中心に残食チェックを行っている。しかし、周知の不徹底や各学級の意識の差、新型コロナウイルス感染症の影響等が関係して、残食ゼロになった回数が少なかった。来年度は食べ物に感謝して食べきる意識をもたせる指導を行う。</p>

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・ペットボトルキャップ集めはクラス間で競い合いながら行っており、目標値を大きく上回る個数を回収することができた。また、生徒だけでなく家庭の協力を得て行うことができた。・職員間でのやりとりを行う際には裏紙や電子データを積極的に利用することができた。・暖房機器は19℃以上、冷房機器は28℃以下では使用しないことを職員間で確認し、集中管理を行った。	<ul style="list-style-type: none">・生徒会執行部や専門委員長を中心に毎週水曜日にボランティア活動を行い、校内美化に努めた。今後の課題として、生徒の全員参加を促すことや除草作業の場所に変化を加えることなど、一人一人が達成感を感じられるようにすることが挙げられる。・給食の残食ゼロの取組は生徒たちが自ら意識して取り組むことができている。しかし、学級によっては取り組む意識に差が見られる。